



良好なパフォーマンスの背景 および運用手法について

ポイント



1. 過去10年間の振り返り ～逆風にも関わらず…～
2. パフォーマンスを支えた運用プロセス
3. 代表的な銘柄紹介

1. 過去10年間の振り返り ～逆風にも関わらず…～

過去10年間は概ね、成長株（グロース株）相場

過去10年間、株式市場の上昇をけん引したのは、成長株でした。具体的にはSNS、クラウドサービス、人工知能の関連サービスを提供する企業が存在感を増し、株価上昇の原動力となりました。

一方、当ファンドは高配当株投資を基本とし、そのコンセプト上、概して不利な投資環境でした。投資環境は逆風でしたが、当ファンドは、過去10年において、先進国高配当株を上回るパフォーマンスを達成しました。R&Iファンド大賞2021にて、「投資信託10年／外国株式高配当部門」最優秀ファンド賞を受賞したのは、このような投資成果を評価頂いたものと考えており、配当利回りや増配傾向を重視しつつ優良銘柄に長期投資を行なうという、当ファンドの運用プロセスがもたらした結果だと考えられます。コロナ禍を経てパフォーマンスが出遅れている先進国高配当株ですが、下図の通り長期で見ると、先進国高配当株は概ね先進国株のパフォーマンスを上回っています。安定的で高い配当収益が大きく寄与していると考えられます。

当ファンドの基準価額（分配金再投資）の推移



期間：2010年12月末～2021年5月末、月次
 先進国株：MSCIワールド・インデックス、先進国グロース株：MSCIワールド・グロース・インデックス、先進国高配当株：MSCIワールド・ハイ・ディビデント・イールド・インデックス、すべて配当込み、円換算ベース
 各指数は当ファンドのベンチマークではありません。
 基準価額（分配金再投資）については、4ページをご参照ください。
 （出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

先進国高配当株と先進国株



期間：1995年6月末～2021年5月末、月次
 先進国株：MSCIワールド・インデックス、先進国高配当株：MSCIワールド・ハイ・ディビデント・イールド・インデックス、すべて配当込み、米ドルベース
 （出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2. パフォーマンスを支えた運用プロセス

配当利回りや増配期待が高い優良銘柄を長期保有するコンセプト

当ファンドは、配当利回りが高く、増配余力のある世界の優良銘柄に長期投資を行なうことにより、投資成果を目指しています。優良銘柄の特徴として、当ファンドでは、右図のとおり「収益性」「競争優位性」「経営の質」「株主還元姿勢」に着目しています。そのような企業は大抵、参入障壁の高いビジネスモデルを有し、他社との差別化をもたらす技術力やブランド力が背景にあり、価格競争に巻き込まれにくく、高いシェアを占めるという特徴があります。こうした企業の収益力に裏打ちされた「配当利回り」に着目し、割安性を重視した投資を行ないます。配当利回りに着目した投資手法は、配当収入によるトータル・リターン①の安定化、バリュー投資②の機会、過熱投資回避などの効果が期待されます。

配当利回り水準のみならず、将来の増配可能性も考慮

また、配当に注目した長期投資を行なううえで重要なのは、「配当利回り」と「将来の配当成長率」と考えています。配当は会社の業績次第では、増配もある一方、減配、無配のリスクもあります。そこで、銘柄選択においては単純に配当利回り水準の高さだけを見るのではなく、配当や増配のもととなる収益性、業種内の競争力、配当を通じた株主への利益還元の姿勢を重視することで、配当と株価双方の成長を狙うことができると考えています。尚、当ファンドでは配当利回り水準が低くとも、将来的な増配期待の高い銘柄に投資することがあります。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
また、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

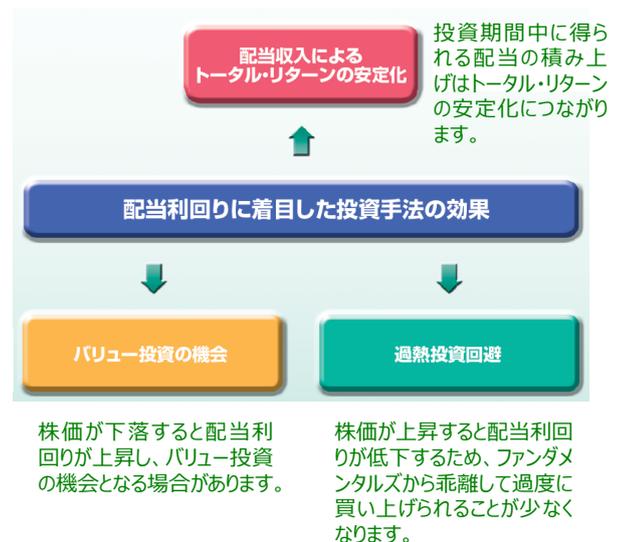
ファンドが考える「優良銘柄」とは



(注) 上記は、ファンドが考える優良銘柄について単純化したイメージ図であり、全てを説明しているものではありません。

(作成) 野村アセットマネジメント

配当利回りに着目した投資手法の効果



・トータル・リターンとは売買損益（含む評価損益）と配当収入の合計。
・バリュー投資とは一般的に、企業価値に対して株価が割安な水準にあると判断される銘柄に投資を行なう運用スタイルをいいます。

(注) 上記はあくまでも配当金が変わらないという前提での例になります。実際には株価が下落しても配当金の減少で配当利回りが上昇しない場合や、配当金が支払われない場合などがあります。上記はあくまでもイメージ図であり、実際の投資効果の全てを示しているわけではありません。また、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(作成) 野村アセットマネジメント

3. 代表的な銘柄紹介

前述のような考えに基づいてファンドに組み入れた銘柄の中から以下の2銘柄を紹介します。

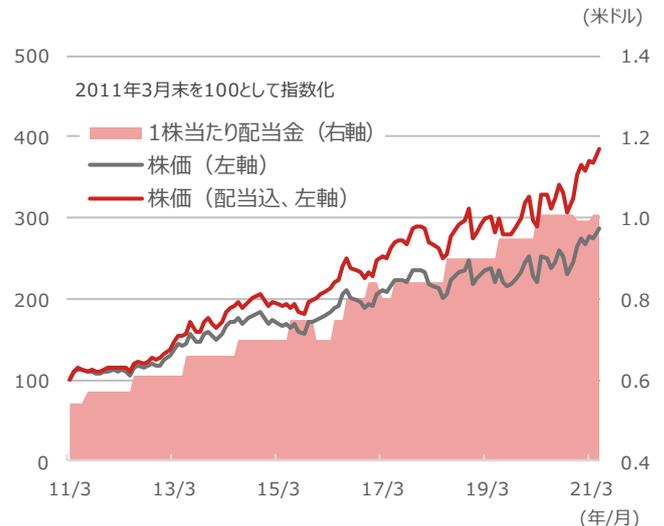
ジョンソン・エンド・ジョンソン

言わずと知れたヘルスケア企業であり、グローバルに極めて幅広い販路を有します。売上高の10%以上を研究開発に投資するなど、商品開発力に強みがあります。自社での製品開発に加えて、買収による製品の改良およびコストダウンを行ない、グローバルな販路を活用しています。事業ポートフォリオとしては、製薬および医療機器製造と共に、特に一般消費者向け製品が有するブランド力を、高く評価しています。配当利回りは2.4%（2021年3月末現在）であり、50年を超える連続増配実績があることも、株主還元の高さを示していると言えるでしょう。

ペプシコ

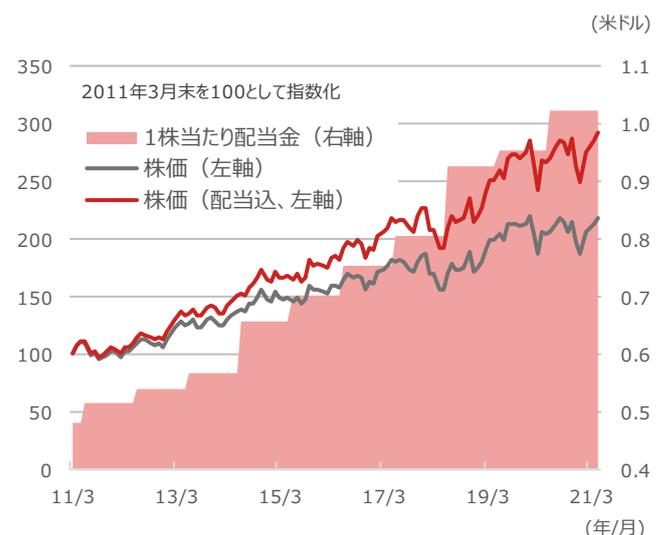
こちらも世界的に認知度と知名度の高い、清涼飲料やスナック菓子を製造するメーカーです。消費者の健康志向をいち早く捉えるなど、柔軟な商品開発力に裏打ちされた成長持続性や高収益性を評価しています。また、新興国への投資や展開を積極的に行っており、インドなど、今後人口成長や所得増加が強く期待できる市場へのエクスポージャーが拡大していることも、高評価です。ジョンソン・エンド・ジョンソンと同様、当銘柄も株主還元姿勢が高く、配当利回りは2.8%（2021年3月末現在）であり、連続増配実績は40年を超えます。

ジョンソン・エンド・ジョンソンの株価と配当金



1株当たり配当金は四半期
期間：2011年3月末～2021年5月末、月次
(出所) ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

ペプシコの株価と配当金



1株当たり配当金は四半期
期間：2011年3月末～2021年5月末、月次
(出所) ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

<当資料で使用した指数の著作権等について> MSCIワールド・インデックス、MSCIワールド・グロース・インデックス、MSCIワールド・ハイ・ディビデンド・イールド・インデックスは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

ファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

「世界好配当株投信（毎月分配型）」

ファンドの運用状況

基準価額の推移

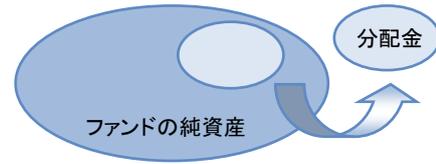
期間：2007年1月31日（設定日）～2021年6月2日、日次



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



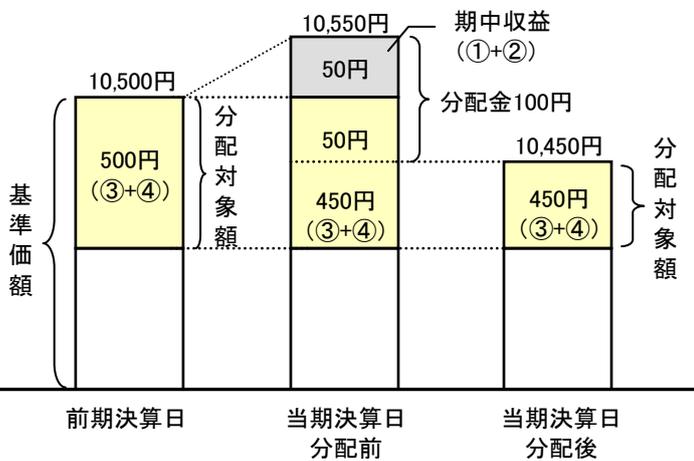
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

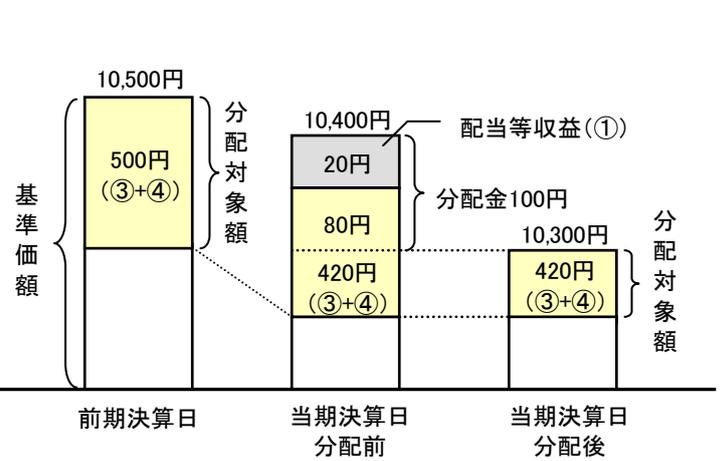
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

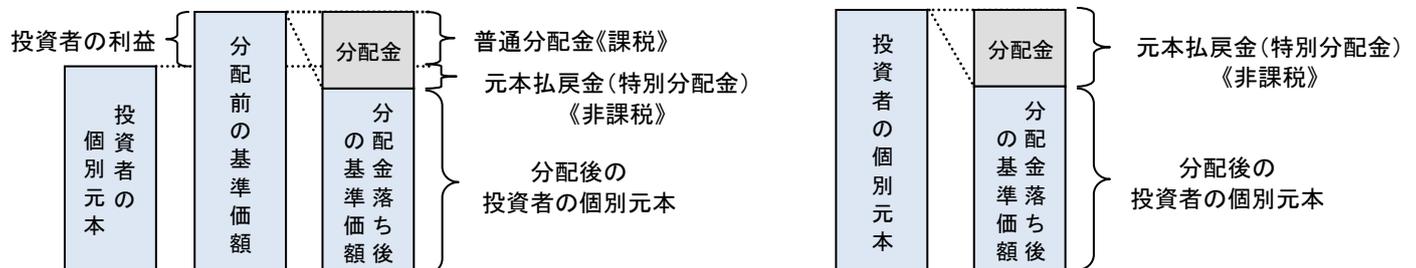


前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金) (特別分配金)となります。



※投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

「世界好配当株投信（毎月分配型）」

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界各国の株式を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「世界好配当株投信 マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 安定した配当収益の確保に加え、中長期的な値上り益の獲得を目指します。
 - ◆ 株式への投資にあたっては、配当利回りに着目し、企業のファンダメンタルズ・事業の継続性等を中心とした定性判断を加え、投資銘柄を選別します。
 - ◆ 世界を「北米」「欧州」「アジア・オセアニア（日本を含む）」の三地域に分割し、各地域への投資比率は概ね各地域の先進国市場の投資可能な時価総額構成比に準じた比率とします。
 - ◆ 各地域毎に、投資銘柄の平均配当利回りを市場平均に比べて相対的に高水準に維持します。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ファンドは「世界好配当株投信 マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- マザーファンドの運用にあたっては、ノムラ・アセット・マネジメンツU.K.リミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 原則、毎月10日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行いません。
分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。*
※ 当面は、1月、4月、7月および10月の決算時に行いません。
* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 無期限（2007年1月31日設定）
- 決算日および収益分配 年12回の決算時（原則、毎月10日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位（当初元本1口＝1円）
または1万円以上1円単位
（ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。）
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2021年6月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.21%（税抜年1.1%）の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額（ご換金時）	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に
応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆お申込みは

野村證券

商号：野村證券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人金融先物取引業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／
一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

● サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

● ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。